

第73回
九州地区大学体育大会
ソフトボール
2023



主 催	九州地区大学体育大会協議会
事務局大学	福岡教育大学
競技主管	福岡女子大学

第73回九州地区大学体育大会 ソフトボール 目次

第73回九州地区大学体育大会役員	p1
各競技共通事項	p2
競技種目別要項（ソフトボール）	p3
大会当日スケジュール、競技場の諸注意	p4～
トーナメント表	p6
選手名簿	p7～

第 73 回九州地区大学体育大会役員

大会名誉会長	九州地区大学体育協議会会長	九州大学総長	石 橋 達 朗
大会会長	福岡教育大学	学長	飯 田 慎 司
大会副会長	福岡女子大学	学長	向 井 剛
	福岡県立大学	学長	柴 田 洋 三 郎
	九州産業大学	学長	北 島 己 佐 吉
	福岡工業大学・短期大学部	学長	村 山 理 一
	近畿大学産業理工学部	学部長	日 高 健
	近畿大学九州短期大学	学長	金 俊 華
大会実行委員長	福岡教育大学	副学長	石 丸 哲 史
大会事務局長	福岡教育大学	学生課長	北 村 要

各 競 技 共 通 事 項

1. 参加資格

次の各項のいずれにも該当するものとする。

- (1) 九州地区大学体育協議会加盟大学の大学・短期大学の正規の課程に在学する者。
- (2) 在学期間が最短修業年限を超えていない者。ただし、在学期間には休学期間を含めないものとする。
- (3) 各競技団体アマチュア規定に違反していない者。

2. 組み合わせ方法

- (1) 各競技とも原則として学生の相互審判で行うものとする。
- (2) 組み合わせ試合方法は、それぞれの競技規則（規定）及び慣行を尊重する。
- (3) 組み合わせは主将会議（または代表者会議）等、出場大学の経費の節約に寄与するため原則として当番校（競技担当校）の責任抽選で行う。

※1. 強弱シード、地域シード制を取ることもあり得る。

※2. 競技によっては主将会議（または代表者会議）等を予定日までの適切な日に実施することができる。

- (4) 抽選に際しては、次の結果がでないような配慮をする事が望ましい。
 - (イ) 同一県内の大学が一回戦で当たること。
 - (ロ) 前年度一回戦で当たったチームが、再度一回戦で当たること。

3. 出場選手

申込み選手（補欠選手を含む）以外の出場は認めない。

4. 表 彰

表彰は原則として団体3位までとし、3位決定戦は行わない。

5. 傷害措置

- (1) 出場選手が試合中に傷害を受けた場合は、競技担当校は応急措置のみ行う。
- (2) 出場選手は、健康保険証を持参すること。
- (3) 出場選手には、全員対象とした傷害保険に大会事務局が加入する。

6. その他

- (1) 参加取り消しは、夏季大会・冬季大会とも各競技開始3週間までとする。
- (2) 出場選手は、スポーツ安全協会等の傷害保険に加入していることが望ましい。
各加盟校は、未加入者に対し加入の奨励に努めること。
- (3) 前回優勝校は、優勝杯を主将会議時に、必ず持参（返還）すること。
- (4) 各競技会場とも十分な駐車場が確保できないので、公共の交通機関等の利用を考慮すること。
- (5) ゴミの処理は、各参加大学で行う。
- (6) 新型コロナウイルス対策については、国の方針に基づき対応していくこととする。

ソフトボール

(競技担当校：福岡女子大学)

- 1 期 日 令和5年10月8日(日)・~~9日(月)~~ 予備日10月9日(月)
- 2 会 場 西部運動公園野球場(福岡市西区飯盛)
- 3 チーム編成 チームの編成は次のとおりとする。
 - (1) 部長1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・選手25名以内
 - (2) 監督・コーチ・スコアラーが選手を兼ねる場合は選手登録が必要となる。
 - (3) 九体協加盟校である2以上の大学が統合した場合、統合後も同一大学から別々の団体として出場できるものとする。
- 4 競技方法
 - (1) 試合はすべて現行の日本ソフトボール協会オフィシャルルール及び本大会要項で行なう。
 - (2) 大会はトーナメント戦で、試合時間は90分または7イニング制とし、4回10点差、5回以降7点差でコールドゲームを適用する。
 - (3) 90分を過ぎて新しいイニングに入らない。
同点の場合はタイブレーカー2回まで。さらに同点の場合は抽選とする。
- 5 抽 選 抽選は競技担当校による責任抽選とする。
- 6 表 彰 男女とも第3位までとする。(3位決定戦は行わない)
- 7 代表者会議 予定なし。ただし、必要な場合は追って連絡する。
- 8 そ の 他
 - (1) 開会式は行わない。
 - (2) 雨天順延は1日とする。
 - (3) 雷鳴がかすかでも聞こえたら、ただちに試合を中止する。
 - (4) 試合球は検定革3号ボールを使用する。(主催者が提供する。)
 - (5) 危険防止のため、打者・走者・次打者・捕手はヘルメットを着用しなければならない。
 - (6) 危険防止のため、捕手はスローガード付マスク、ボディプロテクター膝当て付きレガースを着用しなければならない。
 - (7) 貴重品・荷物はチームで責任を持って管理し、ゴミは持ち帰ること。
 - (8) 宿泊の手配は、各大学で行うこと。

大会当日スケジュールおよび競技場の注意

【10月8日（日）】

時間	西部運動公園 野球場
07:00	開場
09:00～	① 第1試合・1回戦
11:00～	② 第2試合・準決勝
13:00～	③ 第3試合・準決勝
15:00～	④ 第4試合・決勝
16:30	競技終了予定
16:45	閉会式 －成績発表及び表彰 －諸連絡
17:00	終了

【競技場の注意】

I 競技規則

1. 公益財団法人日本ソフトボール協会 2023年オフィシャルソフトボールルールによる。
但し、特別事項は監督会議で協議のうえ決定する。
2. 試合方式は、本大会実施要項による。

II 試合

1. 選手の集合時間

試合開始予定時刻の30分前、または、前の試合の4回終了時までには当該球場に原則集合すること。但し、連続試合の場合は、試合の終了後、そのまま待機すること。

2. 打順表の記入と提出

試合開始予定時刻30分前（第一試合）、または、前の試合の4回終了時（但し、連続試合の場合は前の試合終了後速やか）に、配付された打順表に全ての必要事項を記入し、球場本部へ提出すること。

なお、打順表に記載のない控え選手は、当該選手に出場することはできない。（ベンチにも入れない。）

3. 攻守順の決定

- ① 打順表提出の時、審判員立会いのもと「コイントス」によって決定する。
- ② コインの表裏の選択は、打順表持参先着チームに優先権を与える。

4. 競技者席

- ① ベンチは、組み合わせ番号の若いチームを一塁側とする。

- ② ベンチに入る人数は、登録（打順表に記載）された者で要項に定めるチーム編成人数以内とする。

5. フィールドイング

- ① ベンチに入ることを許されているユニホームを着用した監督・コーチ・プレイヤーで行わなければならない。
- ② 後攻チームより5分間とし、終了予告は1分前に行う。（なお、フィールドイングは日程、天候、その他の理由により時間を短縮または省略することがある。）

6. 競技用具の確認（バット・ヘルメット等）

規格外および安全性に問題があると思われる用具の使用を認めない。競技終了時まで球場本部で保管する。（当該チームは試合終了後、受け取りに来ること。）

7. 試合開始

「集合準備」の合図でベンチ前に一列横隊に並び、次の「集合」の合図でベンチのバックネット側を起点にセンターラインに平行に整列する。（試合終了後も同様の形態とする）

8. 攻守の交代と選手の交代

- ① すべて駆け足で、敏速に交代を行う。
- ② 選手の交代は監督から球審に速やかにその旨を通告する。（退く者から先に告げる。）

9. 試合球および攻守交代時のボール

- ① （公財）日本ソフトボール協会検定革製3号球とし、主催者が準備する。
- ② 特に指示のない場合は、ピッチャーズプレート付近に置く。
- ③ 試合終了宣言後、審判員に渡す。

10. その他

- ① 雨天等で試合不能の場合は、大会本部から各チームに連絡する。
- ② 少雨でも試合決行、あるいは、時間を遅らせて競技を行うこともあるため、大会本部からの連絡に注意すること。
なお、落雷事故防止対策として、稲光が見えたり、雷鳴が微かに聞こえたりしたら、ただちに試合を中断する。
- ③ 出場チームは、必ず監督によって引率され、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- ④ 各チームで熱中症対策を行うこと。大会当日の天候、気温に応じて「給水タイム」を設けることがある。その場合は、3回および6回の攻撃が終了した時点、15分以上の攻撃が生じた後に2分間設けるものとする。

第73回 九州地区大学体育大会 ソフトボールトーナメント表

会場：西部運動公園野球場

